

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 6 年 8 月 2 日

犬 山 市 議 会

議 長 柴 田 浩 行 様

議員名 柴田 浩行

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和 6 年 7 月 3 0 日 (火) ～ 3 1 日 (水) (1 泊 2 日)
(2) 場 所	鹿児島県南九州市 知覧特攻平和会館
(3) 形 態	会派 (創犬会) : その他 ()
(4) 内 容	鹿児島県南九州市 知覧特攻平和会館 「平和教育について」 ・ 知覧特攻平和会館は、太平洋戦争末期に沖縄戦の特攻作戦で戦死された隊員の慰霊に努めている。 当時の真の姿・遺品・記録を後世に残し、この史実を多くの人に知ってもらうことで、平和の大切さ・ありがたさ、命の尊さを学習することができる。 ・ 令和 5 年度は、5 9 3 校、4 1, 0 5 9 人が、教育旅行・修学旅行等で来館し、平和について学習している。 ・ 知覧特攻平和会館は、工事費 5 億円で知覧町が建設した。現在、南九州市から 3 人の市職員が館長など会館で業務をしている。 ・ 南九州市は、平成 2 0 年「平和を語り継ぐ都市」を宣言し、平和と命の尊さを語り継ぐことを市の基本施策の 1 つとしている。
(5) 成果・提言	知覧特攻平和会館初代館長 故板津忠正氏は犬山市民であり、市議会としても板津氏の遺志を次世代に繋ぐことは責務だと考える。 知覧特攻平和会館では、平和教育ではなく、平和学習として取り組んでいる。 平和について教えるのではなく、多くの遺品を前に、子どもたちが心で感じ、自らが平和について学ぶ場所になっている。 犬山市でも、子どもたちに史実を伝え、感じてもらい、自らが平和について考える機会を増やす取り組みが必要である。I C Tを活用して、知覧特攻平和会館 H P の「オンラインミュージアム」で学習することを提言する。

